

令和7年度 予算の概要

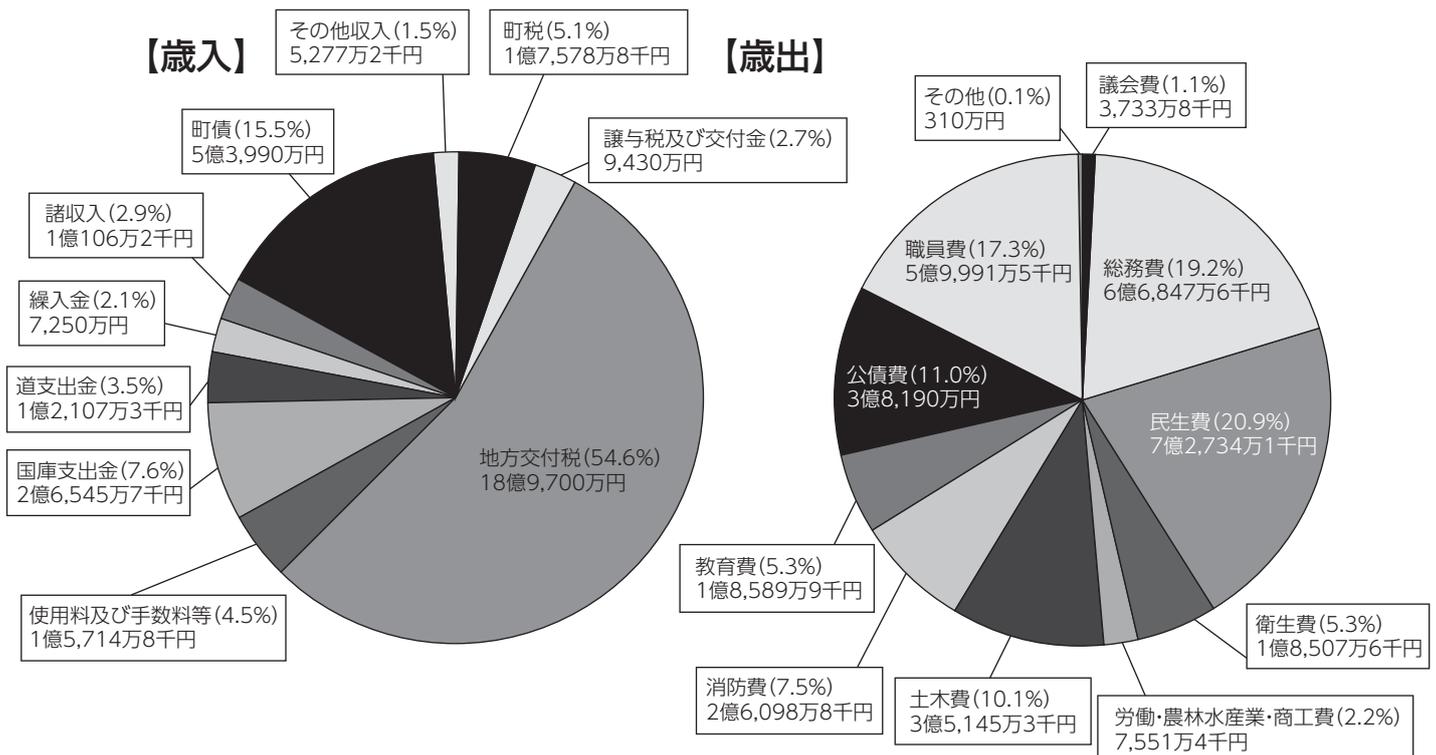
予算総額40億6,270万円

令和7年度の一般会計予算は、34億7,700万円となり、令和6年度の当初予算と比較すると4億7,000万円15.63%の増となりました。また、特別会計及び公営企業会計予算額の合計は、5億8,570万円となり、各会計を合わせた予算総額が40億6,270万円となります。

会計区分		令和7年度当初予算額	令和6年度当初予算額	比較(%)
一般会計		34億7,700万円	30億700万円	15.63%
特別会計	国民健康保険特別会計	7,331万3千円	7,331万円	0.00%
	後期高齢者医療特別会計	6,796万5千円	7,048万9千円	△3.58%
公営企業会計	水道事業会計	2億412万3千円	3億8万2千円	△31.98%
	下水道事業会計	2億4,029万9千円	2億3,344万3千円	2.94%
特別会計及び公営企業会計の合計		5億8,570万円	6億7,732万4千円	△13.53%
合計		40億6,270万円	36億8,432万4千円	10.27%

一般会計 34億7,700万円

すべての世代が町の主人公として元気に充実した生活を送り、様々な場面で活躍することのできる施策をきめ細かく予算化し、ひとりでも多くの町民の希望や願いを実現できる町として、各種の支援を行うことのできる予算を作成しております。



令和7年度予算 主な事業内容

◆防災行政無線の整備

災害の情報や避難等の指示の発信を瞬時に町民の皆様へ伝達するため、行政無線や戸別受信機等の設備を整備し、地域の防災・減災に努めます。



◆福祉医療センター空調設備の整備

福祉医療センターの施設入所者等に対する熱中症対策としてエアコンを整備する事業であり、本年度については、昨年度に受電設備の整備が完了している、成寿苑と町立診療所に設置いたします。

◆水槽付消防ポンプ自動車の更新

各種災害時に効率的に対応できるよう、導入から36年が経過した水槽付消防ポンプ自動車(上砂川2号車)をA2級消防ポンプ搭載の多機能消防車両に更新し、消防団員の現場活動の負担軽減を図り、災害対応に万全を期していきます。



◆各種行政サービスのデジタル化促進

町では、より便利で効率的な行政サービスを提供するために各種デジタル化を進めていきます。

- ・住民票と印鑑登録証明書の交付申請手続きをマイナポータルからも受付可能とし、支払いはオンライン決済とします。
- ・町公式LINEの機能強化を図り行政手続きが可能な分野を拡充します。
- ・高齢者支援アプリの導入により、高齢者が必要な情報を入手し、見守りや地域とのコミュニケーションができる仕組みを構築します。

◆GIGAスクール構想の推進

多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく個々に合った能力を引き出すため、小中学生1人1台のコンピュータを貸与していますが、更新時期を迎えるため、教職員用の端末と併せて更新します。

◆高校就学費等助成事業の拡充

高校等に就学している生徒の保護者に対し、物価高騰の影響を考慮し助成額を増額(年額5万円から12万円)します。